

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[33] 生物環境科学への招待 (-ふるさとの自然環境から地球環境までを見つめる フィールドに密着した科学-)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物環境科学科 准教授 石川 祐一 (計4名)
授業概要	秋田の身近な地域から地球規模に広がる自然環境や生物資源の問題をフィールドに密着しながら発見し、生物資源の人間生活（農林業など）への活用と保全、自然環境の修復と再生などに取り組む生物環境科学を紹介します。		
授業方針	基本的に、パワーポイントの投影資料による授業です。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス 共通施設棟A211		
会場住所	秋田市下新城野中野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1529 E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「多彩な植物を土壌環境の修復に活かす」 教授 石川 祐一 <6月25日（日）9:30~11:00> 動物と違って自分で自由に移動できない植物は環境に応じた進化を遂げてきました。土をとりまく環境問題を概観するとともに、そのような環境問題の解決に多彩な植物をどう活かすか考えます。</p> <p>第2講：「水環境の保全に向けて珪藻を増やす」 助教 渡邊 俊介 <6月25日（日）11:10~12:40> 珪藻は動物プランクトンなどの良質な餌として水界生態系を支えています。珪藻の中にはアオコなどの有害な藻類の増殖を抑制できるため、水環境の保全に不可欠です。珪藻を増やす又は保全する方法について考えます。</p> <p>第3講：「微生物生態学へのいざない〜環境修復&新資源獲得を目指して〜」 助教 渡邊 美穂 <6月25日（日）13:20~14:50> 我々の身の回りは目に見えない微生物で満ち溢れていますが、地球環境の微生物の大多数はどのように生きているのかすらも全く分かっていません。本講義では、ヒトの住めない極限的環境に存在する微生物の生きざまに関する知見やそれらのバイオテクノロジーへの適用可能性について紹介します。</p> <p>第4講：「持続可能な地域づくりとは？」 教授 谷口 吉光 <6月25日（日）15:00~16:30> 高齢化や過疎化に悩む秋田県。地域に人が住み続け、楽しく暮らしていくためには何が必要なのかを一緒に考えましょう。</p>			
その他	昼食をご持参ください。		
テキスト	なし		
参考文献	特になし		
関連科目	高校理科（特に、生物・生物基礎、化学・化学基礎）、地域社会、数学		